

岡崎市民病院様

のケース

医療技術局
木下 昌樹様

連絡ツールとして活用することで、 院内外とのコミュニケーションが効率化しました

アポイント調整の負担を軽減

以前は企業担当者とのアポイント調整をメールで行っており、候補日の提示や日程調整のために何度もやり取りが必要でした。現在は、**1回の操作でアポイントが成立し、カレンダーとも連携されるため、調整業務の負担が大幅に軽減**されました。

メッセージ機能を活用した情報共有

メールのような**定型的な挨拶文を入力する必要がなく、容量を気にせず資料を送受信できる**ため、企業担当者との連絡には主にMONITAROを活用しています。カタログや見積書、論文などの資料共有もスムーズに行えるようになりました。

業者の出入管理をデジタル化

これまで企業担当者の出入記録はアナログで管理していましたが、現在は部署単位で段階的に電子化を進めています。**MONITAROは企業担当者側の負担が少なく、ビーコンなどの専用機器を購入する必要もない**ため、企業担当者にとって利用しやすい点が導入の決め手となりました。